



## 交流を深め

## 信頼関係を築きたい

Vol.87

堤耕作さん  
(周東町在住)

福岡県から転居し、今年4月に玖西地区初の地域おこし協力隊として着任。周東町川越地区を拠点に、地域に密着したさまざまな活動を行う。



今年4月から、周東町の川越地区を拠点に、地域おこし協力隊として地域を盛り上げる活動に取り組んでいるのが堤耕作さんです。

広島県江田島市で幼少時代を過ごし、両親と一緒に畑で野菜作りや鶏を飼うなど、自給自足の生活を送っていた堤さん。その時の生活が心に残り、いつかまた当時のような暮らしをしたいと

いう思いがあつたといいます。

その生い立ちから農業高校に進学した堤さんは、そこで楽しみながらも真剣に作業に取り組む先輩や先生と出会い、農業の道に進もうという決意を固めます。大学卒業後に親戚から畑の世話を依頼された事を皮切りに、福岡県で有機農法での田んぼや畑、養鶏などの農業を営んできました。

▼地域で行われるササユリの観賞イベントに向けて、手入れ作業をする堤さん



それから12年、当時交際していた奥さんが親元である周東町に戻ることにになり、引っ越しを決意。その時に、市で地域おこし協力隊を募集しているという話を聞きます。得意分野である農業や体を動かす作業、大工仕事など何か役に立てるのであればと応募し、隊員としての活動が始まりました。

現在は、祭りのときに使

う備品の修理や地区内の環境美化活動のほか、登山道の整備や地域で行われるイベントの支援などを行っています。人と話したり、一緒に作業したりするのが好きという堤さん。「まずは地域の方と交流を深めて、信頼関係を作っていききたいです。困った時など、気軽に声を掛けてもらえるようになれば」と話します。

活動を始めて3カ月、地域を見て回る中で、いろいろな所に滝があることに驚いたそうです。他にも手作りのみそや豆腐などを作る加工所、朝市など、地域外の人にもあまり知られていない魅力的な場所があることを知りました。ゆくゆくはそういった情報をまとめた地図を作りたいと思っているそうです。「川越の人が、地域が好きです。協力隊の任期が終わった後も、地域の皆さんと関わり合い、何か役に立てるようなことができたらと考えています」

※地域おこし協力隊＝市が委嘱する非常勤職員で、都市部から中山間地域や離島などに移住し、地域おこしや地域住民の生活支援などの地域協力活動を行う。任期は最長3年間



▲登山道の整備を行った高塔山頂上からの景色



▲自宅付近を散歩し、地元の人に会いさつするのが日課